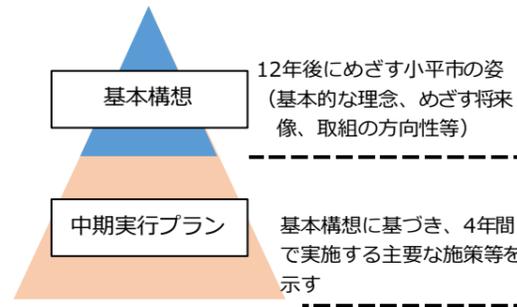


## 基本情報

### 第四次長期総合計画の役割

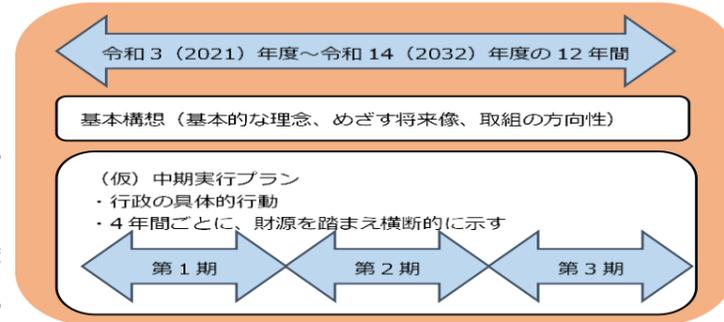
- 進むべき大きな方向性を見失うことなく、市民、事業者、行政など全てのまちづくりの主体が共有する羅針盤
- 各分野の個別計画等と連動しながら、分野横断的にまちづくりを進めるプラットフォーム

### 第四次長期総合計画とは



### 計画策定の視点

- 市制施行100周年を見据える市制施行100周年(2062年)の将来の世代に小平市のまちづくりを引き継ぐための基礎となる計画です
- 地域を共に創る市民、地域の多様な主体、行政がつながり、地域を共に創っていくための計画です



## 計画の背景

### 小平市のあゆみ

- 旧石器時代(3万数千年前)の鈴木遺跡(昭和49年発見)
- 江戸時代(承応3(1654)年)に玉川上水完成
- 明治22(1889)年に小平村ができ、明治27(1894)年に、小平で初めての駅(小川駅)ができる
- 昭和19(1944)年に小平村が小平町に、昭和37(1962)年に小平町が小平市となる

### 小平市を取り巻く状況

- 人口減少、人口構成の変化→現在19万人台(65歳以上人口約23%)の人口が、2060年代には15万人台から14万人台(65歳以上人口約36%)と推計
- 経済財政状況の変化→生産年齢人口減少に伴う市税減、高齢化に伴う社会保障関係費の増
- 公共施設の老朽化に伴う更新ピーク到来
- 地球規模の危機への対応→自然災害や感染症等への対応
- 暮らしや働き方を変えるSociety5.0\*時代の到来  
\*①狩猟時代、②農耕時代、③工業社会、④情報化社会に続く人類史上5番目の新しい社会。新しい価値やサービスが次々と創出され、社会の主たる人々に豊かさをもたらしていく。

### 小平市の特性

- 地勢**  
・市域全体が武蔵野台地上に位置し、標高差の少ない平坦な地形
- 自然環境**  
・玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道、都立小金井公園を結ぶグリーンロードなど緑豊かな環境
- 鉄道駅**  
・市内に鉄道駅が7駅あり、都心等へのアクセシビリティが高く、また、駅周辺は一定の機能が集積
- 学園都市**  
・多数の大学、大学院、専門学校、高校等が立地し、多くの若者が集まる学園都市である
- 地域資源**  
・ブルーベリー(栽培発祥の地)などの農産物、保有数都内1位の丸ポスト、津田梅子など歴史上の人物等、多様で豊かな地域資源が存在する
- 協働の気運**  
・古くから地域での協働の取組が行われている。平成21年には自治基本条例を施行、その後市民活動支援センター「あすびあ」を開設した

## 基本構想

### 基本的な理念

私たちは互いに認めあい、支えあい、助けあい、安全安心に住み続けられるまちづくりのために力を合わせます。  
私たちは「こだいら」の豊かな環境を守り、文化を育て、協働を積み重ね、持続可能な地域社会を次の世代に伝えます。

※基本理念は、市民、事業者、行政など全ての主体が、まちづくりに取り組む際に、常に立ち返るべき基本的な考え方です。

### 取組の方向性

#### 基本目標Ⅰ(ひとづくり)

人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち

- 方針1 全ての子どもの育ちと自立を支援する(子育て支援、学校教育、若者活躍)
- 方針2 全世代が元気にはつらつと過ごす(健康づくり、スポーツ、生涯の学び)
- 方針3 まちの誇りを受け継ぎ、発展させる(歴史、文化芸術)

#### 基本目標Ⅱ(くらしづくり)

多様性を認めあい、つながり、共生するまち

- 方針4 お互いに尊重し、活躍できる社会の実現(男女共同参画、障がい者支援、多文化共生)
- 方針5 地域の絆で支えあう(介護、保健福祉、生活支援)
- 方針6 誰もが役割と生きがいを持つ地域づくり(地域コミュニティ、安全・安心)

#### 基本目標Ⅲ(まちづくり)

自然と調和した、美しく快適で、魅力あるまち

- 方針7 水や緑を保全・創出し、環境にやさしい循環共生型の社会を形成する(緑、環境、資源循環)
- 方針8 安全安心で快適な、住みやすいまちを形成する(市街地整備、道路、交通)
- 方針9 地域資源をいかし、活力と交流を生み出す(商工業、都市農業、観光)

### めざす将来像

つながり、共に創るまち こだいら

※めざす将来像は、基本的な理念を踏まえ、12年後に目指す小平市の姿として設定するビジョンです。

### 自治体経営方針

※3つの基本目標を着実に進めるための考え方などを示します

- ・地域資源によるサービスの実現
- ・将来に向けた財政運営、財産活用
- ・運営・業務執行体制の効率化
- ・職員と職場の活性化

### 基本目標横断プロジェクト

#### プロジェクト1

自助・共助・公助により、防災減災を強化します

#### プロジェクト2

新たな地域拠点とコミュニティの創出に取り組みます